

平成11年度

# 特殊教育普及セミナー報告書

テーマ「これからの自閉症児教育の課題と展望

—社会自立を目指すトータルケアと特殊教育の役割—

開催日 平成12年1月27日(木)・28日(金)

会場 横浜ラポール シアター

主催 国立特殊教育総合研究所

## まえがき

国立特殊教育総合研究所では、我が国の特殊教育の一層の発展と充実をめざし、国内外の特殊教育に関連する優れた実践や研究の成果の普及を図るため、国内はもとより海外からも専門家を招聘して特殊教育普及セミナーを毎年開催しています。

平成 11 年度は「これからの自閉症児教育の課題と展望－社会自立を目指すトータルケアと特殊教育の役割－」をテーマとし、横浜ラポールシアターにおいて平成 12 年 1 月 27 日・28 日の 2 日間にわたって開催しました。

我が国における自閉症児教育が始まってから約 30 年を経た現在、その成果による年長自閉症児・者の行動特性の変化は広く認められているところです。その過去の成果を踏まえた上で、自閉症児・者が今後一層の社会自立を達成し、可能な限り社会参加をして充実した生活を送ることができるようになるための方策を考えていくことを目的としました。このような社会自立の達成のためには、特殊教育ばかりでなく福祉、医療、労働など多方面からの生涯にわたる総合的な支援、すなわちトータルケアの視点が欠かせません。

そこで、今回は米国のノースカロライナ州において自閉症児・者へのトータルケアを実践し、その成果が広く世界に知られている TEACCH について、創立者のエリック・シヨブラー教授と TEACCH プログラムを実践して成果を上げているローリー・エンッケンロード教諭を招き、我が国における自閉症児の教育および療育でそれぞれ大きな実績を上げた有澤直人教諭と佐々木正美教授を招いての講演を行いました。さらに本研究所の渥美義賢が特別研究「自閉症児の早期療育・教育における連携システムに関する研究」の成果を踏まえた話題提供を、日本自閉症協会の須田初枝副会長が保護者の立場から話題提供を行い、会場の参加者を含めたパネルディスカッションを行いました。

これらの講演、話題提供およびディスカッションの内容をまとめたものが本報告書です。この成果が我が国の特殊教育の発展・充実に寄与し、自閉症児・者の一層の社会自立に貢献できることを願っております。

平成 13 年 3 月

国立特殊教育総合研究所長

高 為 重

# 平成 11 年度特殊教育普及セミナー

## 日程

平成 12 年 1 月 27 日 (木)・28 日 (金) 横浜ラポール・ラポールシアター

第 1 日目 1 月 27 日 (木) <逐次通訳付>

開会式 10:00 ~ 10:30

挨拶 国立特殊教育総合研究所長  
文部省初等中等教育局特殊教育課長

高 為重  
池原充洋

講演 I 10:30 ~ 12:20

自閉症児の社会自立を目指した支援システムについて  
—TEACCH センターとノースカロライナ自閉症協会の関係から—

講演者 米国ノースカロライナ大学教授 エリック・ショブラー

昼食

講演 II 13:20 ~ 14:40

自閉症児の早期からの社会自立に向けた教育支援体制について  
—IEP と指導の実践から—

講演者 米国ノースカロライナ州ウェイク郡立ワシントン小学校教諭  
ローリー・エッケンロード

休憩

講演 III 14:50 ~ 15:50

社会自立を目指した自閉症児教育の実践について

講演者 東京都江戸川区立二之江第三小学校教諭

有澤直人

質疑応答 15:40 ~ 16:50

(講演 I、講演 II、講演 III について)

第2日目 1月28日(金) <逐次通訳付>

講演IV 10:00 ~ 11:50

自閉症児の療育・教育の課題と展望

—自閉症児が社会自立を実現するために—

講演者 川崎医療福祉大学教授

佐々木正美

質疑応答 11:50 ~ 12:20

昼食

パネルディスカッション 13:20 ~ 16:30

自閉症児の社会自立に向けての支援体制

—これからの特殊教育の在り方を考える—

話題提供1: 特別研究「自閉症児の早期療育・教育における連携システムに関する研究」の研究成果から

国立特殊教育総合研究所・情緒障害教育研究部長 渥美義賢

話題提供2: 保護者の立場から

日本自閉症協会・副会長

須田初枝

パネラー エリック・ショプラー

有澤直人

渥美義賢

司会

寺崎裕志(国立特殊教育総合研究所・情緒障害教育研究室長)

ローリー・エッケンロード

佐々木正美

須田初枝

閉会式 16:30 ~ 16:45

挨拶

国立特殊教育総合研究所総合企画調整官

阪内宏一

## 目次

まえがき

日程

講演 I .....	1
自閉症児の社会自立を目指した支援システムについて —TEACCH センターとノースカロライナ自閉症協会の関係から— エリック・ショブラー（米国ノースカロライナ大学教授）	
講義 II .....	25
自閉症児の早期からの社会自立に向けた教育支援体制について —IEP と指導の実践から— ローリー・エッケンルード（米国ノースカロライナ州 ウェイク郡立ワシントン小学校教諭）	
講演 III .....	45
社会自立を目指した自閉症児教育の実践について 有澤直人（東京都江戸川区立二之江第三小学校教諭）	
質疑応答（講演 I、講演 II、講演 III について） .....	59
講演 IV .....	67
自閉症児の療育・教育の課題と展望 —自閉症児が社会自立を実現するために— 佐々木正美（川崎医療福祉大学教授）	
質疑応答（講演 IV について） .....	87
パネルディスカッション .....	95
テーマ；自閉症児の社会自立に向けての支援体制 —これからの特殊教育の在り方を考える—	
話題提供 1：特別研究「自閉症児の早期療育・教育における連携システムに 関する研究」の研究成果から .....	97
渥美義賢（国立特殊教育総合研究所・情緒障害教育研究部長）	
話題提供 2：保護者の立場から .....	107
須田初枝（日本自閉症協会・副会長）	
討論： .....	113
パネラー エリック・ショブラー                      ローリー・エッケンルード 有澤直人    佐々木正美 渥美義賢    須田初枝 司会 寺崎裕志（国立特殊教育総合研究所・情緒障害教育研究室長）	
参考資料 1 .....	131
参考資料 1 .....	155